

## 議会活性化特別委員会（第4回）

令和2年1月15日（水曜日）午前 10時00分開会

---

### ○案件

- 1) 議会活性化に関する検討事項について
  - 2) その他
- 

### ○出席委員（17名）

委員長	中島勝也	副委員長	上野武彦
委員	横田有一	委員	神崎和枝
委員	平松俊一	委員	池田誠悦
委員	田村敏郎	委員	稲垣明美
委員	畑中静一	委員	長谷川生人
委員	坂本繁	委員	澤出明宏
委員	川村主税	委員	中川友規
委員	若山雅行	委員	川上弘一
委員	青山金助		

---

### ○欠席委員（0名）

---

### ○委員外議員（0名）

---

### ○出席説明員（0名）

午前10時00分 開会

○中島委員長 それでは改めまして、新年あけましておめでとうございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

きょうは、第4回の議会活性化特別委員会になります。

前回の委員会でたくさんの協議事項いただきまして、五つの協議事項を決定させていただきました。一応、順位も決まりましたけれども、きょうの委員会はこの五つの協議事項に対しての資料要求、これをぜひやっていきたいと思ひますので、皆さん方のほうからこれに関するこういうものの資料をほしいというものがありましたら、ぜひ御提案いただければと思ひますのでよろしくお願ひをしたいと思います。

とりあえず前回の特別委員会の中では、五つの項目、1番は正副議長の交代制、2番目は議会だよりの簡素化、3番目は研修会の増加、4番目としてインターネットの配信、5番目として議員定数と議員報酬のことについてということで五つの協議事項が決定されております。

きょうは、この五つの協議事項についての資料要求ということで皆様方からこういう資料がほしいというものがありましたら、ぜひひとつ御提案をいただければと思ひますのでよろしくお願ひをしたいと思います。

どうぞ皆さんのほうから、こういう資料がほしいというようなものがありましたら、ぜひ発言をしていただきたいと思います。

若山委員。

○若山委員 五つの項目のもう一回、タイトルと順位をもう一度コールしてもらえると。

○中島委員長 まず五つのことが、一つ目は正副議長の交代制。2番目は、議会だよりの簡素化。三つ目は、議員研修会の増加。これ今、常任委員会で各年やっていますけれども毎年やっていくということで、二つを増加するという事です。四つ目がインターネットの配信について。5番目がこれはもう後半になると思ひますけど議員定数と議員報酬についての議論という5項目になっております。よろしいですか。

若山委員。

○若山委員 済みません。僕のメモでは、研修会が2番目になってたような気がするのだけれども、何かどうでしょうか。順番どうでもいいのですけれど、優先順位ということで何か挙がった中で僕のメモで合っているかどうかかわからないのだけれども、正副議長の任期が1番目で、研修会が2番目で、議会だよりの簡素化が3番目ということであとは同じになっているのですけれども、どうでしょうか。

○中島委員長 わかりました。私の間違いかもしれませんが、皆さんどうでしたか。私のほうが間違ってたかな。今順番ちょっと私、入れかわったのかな。

中川委員。

○中川委員 たしか前回、優先順位の話になったときに、結局この五つの項目を出して、後回しにしたら時間かかるとかどうたらとなって全部同時進行でいきましょうという話で終わったと思うのですよ。つけるならつけてもいいのですけれど。

前回、例えばYouTube配信が遅くなるとかどうとかなったときに、最後結局、同時進行で全部進めましょうとかいう意見出てきて何かそういう感じで終わったような気がするのですけれども、決めてもいいですし、どちらでもいいですけども。

○中島委員長 優先順位。一応、最後のほうに優先順位についての協議をやっているのです。そのときに、平松委員のほうからインターネット配信と議会だよりはセットにして議長任期と議員定数もセットにしたほうがいいと。

議長任期が終わってからインターネットをやるのではなく、毎回行ったほうが早く終わるのではないかという話がありましたけれども、これについては結論は出てなかったのではないかと。

進め方、池田委員からは、進め方については正副委員長と事務局に任せますよというのは池田委員のほうからそういう話がありまして、そこで一応この件については終わっているのです。

それで私のほうからたしか順位については、

正副議長が最初で、僕は議会だより2回目が変わるかと思ったのだけれども、今、話聞いたらそういう研修のほうが先だったのかなという今、頭がありましたけれども。確かに順番についてもちょっと議論はしたのかなという気はしていますけれども。

○畑中委員 休憩ですか。

○中島委員長 いや今、休憩ではないです。

そういう話で終わって、資料要求については次回という話で委員会を閉じたのですけれども。順番について。

畑中委員。

○畑中委員 確かに5項目、特別委員会でこれから審議されるのですけれども、ただこれ一度にはできませんよね。そうした中で当然、どれを先にしていたほうが議会の改革の中で一番ベターなのかというふうな考え方に発すると思うのです。

前回の特別委員会の最後の結論というのか、そういう中では平松委員さんが確かに意見は出されていましたが、それが全て全体で認めたわけではないし順位は決まってないと思うのです。

ですから、もし順位を決めるだったら当然順位決めて、これから皆さんと協議していった方が私はいいなと思うし、ぜひ今回は効率的に進める上では順位を決めてほしいなと思っています。以上です。

○中島委員長 ありがとうございます。

確かに5項目挙げておきましたけれども、平松委員の言うようにこの五つを一遍にやるということは、なかなかやはり難しいと思うのです。

私も前回の議事録を今、拝見してるところなのですが、最後に池田委員のほうから進め方については正副委員長と事務局にお任せしますということで、そのときの委員会は終了しておりますので改めてそれでは順位のほうが決まって、皆さんも順位は決まってないよというような話も多数ありましたもんですから、再度この委員会でこの五つの中からどういう順序で議論を進めていくかということをお皆さんのほうから挙げていただければと思いますけれども。

五つしかありませんけれども、五つの中から優先順位を1番をどれにするか、2番目にどれを持っていくかというような話。先ほど私のほうから勘違いで大変申しわけなかったのですけれども、順序として1番は正副議長交代制、そして私の間違いで若山委員のほうからは、たしか議員研修会の増加でなかったかと。3番目については議会だよりの簡素化。4番目にはインターネットの配信。5番目に議員定数と議員報酬というような形になってましたけれども、皆さんどうしよう、この順序を進めて。皆さんから意見ありませんから、この順序で決めていいのかなのか議論させていただきたいと思えますけれども。

中川委員。

○中川委員 早くできるものというか、からいけば。例えばですけど議会だよりの簡素化なんかでいけばネット配信の部分と若干絡む部分があると思うので簡単にすぐできないのかなと思うので、それでいくと1番早くスムーズにというかいけそうなのであれば議員研修が早くできそう。その後は、正副議長なのかなと思うので。スピード感をもっていくのであれば、その方がいいのかなと思えますけれども。

○中島委員長 ありがとうございます。

確かに議員研修のことも早く決めなくちゃいけないというのは、やはりこれは予算が絡んでくるものですから、なるべく早く決めないと今期中の開いてる年度にできなくなりますので、なるべく早く決めて予算も組んでもらうような形につくらなくてはいけないものですから。できるだけやはり今、中川委員からありましたように議員研修の増加と正副議長の交代制、この二つはまず最優先的に進めていったらどうかというような感じがします。

インターネットの配信については、時間がかかるのかなど。資料もたくさん出てくるのかなというような感じもしますし、また議員定数については後半という形で持っていきたいと思っていますので、今、中川委員の方から御提案がありましたけれども、そのような考えでよろしいでしょうか。

平松委員。

○平松委員 どうもわからないのは、決めてかかっている面があるような気がするのですね。

例えばインターネットの配信には時間がかかるって委員長おっしゃいましたけど、もう既に動画の配信ができる状態には議場はなっているのです。映像は録画してます、あの機械で。我々見ようと思えば直ぐ見れるのです。前回の議会。だからそれをYouTubeに載っけるか載っけないかという議論をする段階なのです。

だから私は前回言ったのは、五つのテーマ。例えば最初に議長、副議長の任期ですか。これが決まらないうちは、ほかのテーマに入らないというやり方ではなくて、例えば1番目その話でもいいです。その話が次までにはこういうもの調べましょうという段階に入ったら、では2番目のテーマをやりましょうとか。そういうふうにやっていかないと、どれかが終わるまで次のテーマに入らないというふうに私は理解してたものですから、だから同時進行でいいのではないですかという話をしたのです。

だから例えばきょう12時まで1番目の議長、副議長の話が全然進まなかったら、それはそれで終わりでもいいでしょう。ただし、いろいろな例を集めて次またそこから入りましょうとなったら、では2番目にいきましょうというふうに進める。そういうことを言ってるつもりなのです。その辺どうなのでしょう。

○中島委員長 今平松委員の方から一つだけに絞ってやっていくのではなくて、プラスアルファ的な形でインターネットの配信の問題だとかそういうのも時間を見ながら流れを見ながら同時進行できないかというようなお話ありましたけれども、そういう話もできなくはないと思いますけれども、やはり一つのテーマごとにきちんとけじめをつけながら、また次のものにかかっていくというようなやり方のほうがきちんとした進め方ができるのかなというような気がしないわけでもないのですけれども、皆さんどうでしょうか。

川上委員。

○川上委員 インターネットの配信につきましては準備ができていると言いますけれども、やはりいろいろな面を考えていかなければ。1回やってしまうと後戻りできないような問題かなり出てくると思うのです。

あと、議会で一応案みたいなものをつくっても、それを理事者と協議してやっていかなければだめだし、結構時間かかると思うのです。

であるから委員長言ったとおり、まずは一緒にくたに一緒にやらないで、正副議長の任期だとか常任委員会の視察決めるのも先に決めてしまっ、残っているものをじっくり後で検討していくと。

きょうはその話の場ではなくて資料要求、何するかというのも問題なので、その辺もう一回進めていただきたいと思います。

○中島委員長 ありがとうございます。

今、川上委員の方からも順番を決めて一つずつ整理した方がいいのではないかと。まずはインターネット配信は時間もかかることですし、行政側との話し合いも一緒になってくる可能性も出てきますので、まずできるものからきちんと収めていくというような形の方がいいのではないかというようなお話ありましたけれども、ほかに何か御意見ありますか。

畑中委員。

○畑中委員 確かに私は一度にやるべきではなくて順番を決めるべきだと先ほども発言しているのですけれど、それは全く変えるつもりはないのです。

その中で、やはり先ほども中川委員も発言しているとおおり、やりやすいものから順次やっていったほうがいいのかなど。そしてまた、もちろん川上委員も発言されておりましたけれども、きょうはどちらかと言うとその項目ごとに資料要求ですね。やはり資料要求してそれを精査することによって議論が成り立つだろうし、だからそういうふうなやり方で進めていっていただきたいと。

ちなみに私は順番って今なのですけど、多分先ほど中川委員も発言しておられましたように順番については、まず1番目として議員の研修

会。これも差し迫ってすぐ5月ごろあるような感じになるものですから、まずそれをやって2番目あたりに正副議長、これをやっていきたい。今は順番ですと言ってるのですけれども。

あとは三、四というのはインターネットと議会だよりをセットにして、例えばインターネット配信にすることによって議会だよりの簡素化というものも考えられるわけです。

だから、例えばインターネットである程度のコストをかけて、更に議会だより今までどおりなコストかけるようではこれから大変でしょうから、財政的にも大変でしょうから、そういうふうについてはインターネット配信したのであれば議会だより、例えばページ数等を縮小していくというふうな方向で進めてもらいたい。

そうすると最後に5番目が議員定数と報酬。この順序で、もしできたらいった方がいいのかなと私はそのように提言したいのですけれども。

以上でございます。

○中島委員長 ありがとうございます。

今まで各委員の皆さんから意見をいただきまして、やはりできるものから一つ一つ片づけていくというような形で、そしてまた意見としては研修会の増加、予算も絡んできますのでできるだけ早く決めたいというのと、正副議長の交代制これをまず二つを優先的に先にやっていると片づけていくというような形で進めていきたいと思っておりますけれども、皆さんどうでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○中島委員長 異議なし。よろしいですか。

若山委員。

○若山委員 ちょっと何か議論を戻してしまうような感じになるのですけれどもインターネット配信、確かにいろんなハードルがあったり、どんな成果物にするかっていうか、それはいろんな自治体によってやり方が違うので、これはものすごく検討していかなければいけないだろうなと思います。

だけれども、議会として住民との情報共有ということを考えたときにインターネット配信を

するのだと、どういう形にするかはこれから議論してやるんですけどもということでインターネット配信をやるんですよと。だからどのくらいをめぐりに1年以内にやるのだとか、そういうところについては早めに決めて我々のタイムシートですか、そういうのを最初に決めてやられたらいいのではないかと思います。

インターネット配信は弊害が多いからだめだと、あるいは資料要求でいろいろなもの見た上でないと判断できないという意見留保の方が今いるのであれば決められないけれども、少なくともインターネット配信についてはやるんだというところについては決められるのかなというふうに思うのですけれども、その後で議論になるとやるのかやらないのかもわからないという形になるのでそういうようなことはどうなのでしょう。

○中島委員長 今の若山委員の方からインターネット配信について、やる方向で進める意見になるのか、それともちょっと待てよとなるのか。そういう問題出てくると、一応この問題はやるということ。取り上げたということは、やはりインターネット配信はできるだけ前向きな形で進めていきたいというような考えで皆さん提案されたと思いますので、ぜひそれを前提にして話を進めていく方がいいのかなというような感じがいたします。

川上委員。

○川上委員 この五つについては、全てやるという方向なのですよ。

ただ、これを一遍にやればちょっと大変な業務量があるので、とりあえずこの五つのうちの何かからやっていくかということは今決めてるわけで、インターネットを抜かすのではなくて、この五つについては必ず全部やっていくというのは今の委員会の方向ですから、その辺で何を優先的にやっていくかということは今決めているので。

委員長、もう一回その辺。

○中島委員長 わかりました。

今、川上委員のほうから話が出ましたけれども五つについては私も思っていましたけれども、な

るべくそういう実現に向けてやっていくのですよというような前向きな姿勢で皆さんこの議題に、協議事項に挙げていただいたと思いますので、できるだけ実施できるような形、実現できる形で議論進めていきたいなというふうに思っておりますので、その辺をひとつ御協力お願いしたいと思っています。

若山委員。

**○若山委員** この五つのテーマについて、やるかやらないかも含めて議論するのかなと思っていたので。そうでないと議長の任期制について何年がいいかと議論するけど今はまだということもあり得るので、必ずやるというのは提案としては2年制がどうかという提案があったときに、それにみんな賛成したわけではないのにな。やるかやらないかも含めて議論するのかなと思うのですけれども。インターネットについてはやる前提で、あとどうやるかだけを議論するのだということでもよろしいのでしょうか。

インターネット配信というか議会だよりとの連携だとかそういうのをどうやるのかを議論するんだということで、そう考えててよろしいのでしょうか。

**○中島委員長** その件については議論の持っていく方と思うのですけれども、議論の中でどういう意見が出てくるのか。それは進め方によって出てくるところ変わってくると思いますので、そこは議論に入った時点で皆さんからどういう意見が出て来るのかそれを踏まえて議論を進めていきたいなというふうに思いますけれども。

やるとかやらないとかではなくて、出てきた議題になってますからその議題の議論の中でどういう議論が出てくるのか、それを見きわめながら進めていきたいなというふうに思っております。よろしいですか。

稲垣委員。

**○稲垣委員** まずインターネットもそうなのですが、やるからのメリットもあるしデメリットもあるし、その辺をきちんと資料請求して、皆さんで精査しながら進むべきなのではないかなというふうに思うので。

まず、やるやらないで、やりたい方向で今、五つの項目が挙がっているので、その辺かなというふうに私は思います。

**○中島委員長** ありがとうございます。

そういうことで五つ前向きな形で進めてまいりたいと思ってますので、今、議論に入ってからいろんな皆さんから意見出てくるとしますのでそこはそのように判断しながら進めていきたいなというふうに思います。

きょうの順番も大体やはりできるものからという形で決まりましたのですけれども、きょうは意見としてはこの五つについての資料要求、これをぜひ資料要求もある程度ないと議論もなかなか入っていきませんので、できるだけ資料を集めてそして皆さんと活発な意見をしていきたいなというふうに思いますので、皆さんのほうから資料があればこういうものがほしいというものがあれば提案をしていただきたいというふうに思いますけれども。

どの項目からでも結構でございます。どうぞこういう資料がほしいと、インターネットについてこういう資料ほしい。議会だよりについてはこういう資料がほしいというものがありましたら、ぜひ発言していただきたいと思います。

川上委員。

**○川上委員** 常任委員会の視察研修の毎年やるということの協議の中で、今1回隔年で2年に一遍になっているのですけれども、多分昔、毎年やってたと思うのですよね。だから何で隔年になったかという、そういう経緯の資料みたいなものがあれば提出していただきたいと思いません。

**○中島委員長** 今、川上議員のほうから今までたしか研修会は毎年やってたのですよね。確かにこれ財政のことが絡んできて、それでお金が無くなって厳しさが出てきてそれでは1年ごとにしようという経過があったのですけれども。そういう資料があれば、ぜひほしいと言ったことありましたけれども、皆さんこれでよろしいでしょうか。一ついただいても。

それとほかにありませんか。

川村委員。

○川村委員 まず正副議長の部分で、これ北海道の市町村で4年でやっているのか、2年でやっているのか、ちょっとその辺のデータがまずほしいなど。

町村に限っては何ていうのだろう2年でやっているところがあるのかどうか、わからないのですけれども、もし北海道でなければそれこそ全国の方も含めてなのかなと。実際、その2年制にするってなった場合、何か決めごとみたいなものまでもしどういった形で2年制にしたというのがもし出せるものであれば、その辺の資料もほしいなど。まず1点。

あとネット配信の関係も前にも実際費用とかそういう部分、実際どのくらいかかるものなのかわからないので、その辺具体的にやるにしてもどのくらいかかるのか。あと各自自治体でやるところでもこういう町ではこういうケースでネット配信しているよと、具体的に動画をそのまま流しっぱなしにしているところもあれば多少加工したら変だけど……。

資料要求も全部いいですよ。とりあえず。

○中島委員長 全部一緒にやってください。全部五つの中からどれでもいいです。全部言ってください。欲しいものがありましたら。あとこっちのほう整理しますので。

○川村委員 その状況ですね。こういう町ではそういう流しっぱなしでやってるとか、一部加工しているとか、議会の部分もあれば委員会の部分も配信しようとその辺がわかるような資料というのですか、それを欲しいなどと思って。

とりあえずいいです。

○中島委員長 中川委員。

○中川委員 まず研修会に対してですけれども、古い先輩議員さんなら多分わかっているのですけれども、過去は結構いろんな視察っていうものを議員の研修があったというお話は聞いたことがあるのですけれども、当時はどのような視察があったのかということと正副議長の川村委員が今言ったようなことなのですけれども、全国全道の市町村の現状とあとはそれをやるところに対しては正副議長だけなのか、例えば監査委員とか広域、法定でいけ

ば大体これ正副議長も4年任期というのは同じだと思っているので、そこのそういう現状どうなっているのかなということと。

あとネット配信に関してもほとんど川村委員と同じなのですけれども現状、他の配信しているところはどのようなやり方でやっているのかというものと、あとは議会だよりに対しては要はネット配信と絡めて削減している部分というのはあると思うので、その辺も他のやっているところはどのような形でやっているのかということとです。

これに関しては結構いろんなやり方あるのでちょっと幅広く事例を出していただきたい。ネット配信に関してです。以上です。

○中島委員長 ほかにありませんか。

神崎委員。

○神崎委員 今、皆さんおっしゃったのとプラスアルファです。視察研修の件なのですけれども、七飯町の経緯というか経過というか、それもそうなのですけれども、全道的に市町村ってどのくらいどういう形で研修会を行っているかというものもあったらいいのかなと思っています。

○中島委員長 はいどうぞ。

○横田委員 そのときにかかる費用が今、たしか10万ですよ。昔は15万だとか無制限だとかあったのだけれども、そういう資料があったらついでにそれも出してほしい。

○中島委員長 ほかにありませんか。

畑中委員。

○畑中委員 委員会の視察研修なのですけれども、中島委員も御存じかと思うのですけれども昔は今より毎年だったから回数多かったのですよね。たしか各年で一方が15万で次の年が10万でなかったかなと記憶では何だかそういう感じ。そうすると今は隔年で10万10万だから20万、昔は25万かな。そういうふうな感じで私記憶にあるのですけれども。

なぜそうなったかということ委員長さんもおっしゃったように行革の一環でもって、たしかあるとき総務課長に、皆さんも御存じかと思うのだけれども、個人名も挙げて悪いのだけど、石

田課長のときに議会に対して何とか節約してもらえないかと何とかのんでもらえないかと非常に財政状況が苦しくなっているのではというようなお話でもって。

それともう一つは、議会だよりもそうだったのですよ。議会だよりも今までは何て言うのでしょうか、一般質問なんかA4、1枚ですね。個々にスペースが与えられたのですね。そしてもちろん原稿には写真なんかを載せるようにというふうにして非常に別冊ですから見やすい、そして町民にも親しまれやすい議会だよりということで、議会だより編集委員会というものがあって、いろいろ研修なりそして研鑽を積みながらここまでやってきたわけなのですけれども、あるとき突然、要するに行革の絡みでもって何とか節約しなきゃならないということで議会だよりの部分についても、それから研修の部分についても、過去においてそういうふうにしつけというのか協力要請というのかあったのですね。

そういう過去の話をするればそういうわけで、今確かに七飯町は何て言うか余り財政状況もよくないのですよね。そうした中でそれを毎年議員研修をやるということになれば、なかなか大変かなと私は思うし、もちろんあるときはたしかに私今でも記憶してるけど中島委員さんも特別委員会か何かの席で視察は全廃しろというような発言はされたかのような。ちょっと私の記憶が定かで、そういうこともされたような気もするのだけど。

でも全廃でなく、では、この研修視察というものを今ここでなくするという事は今までのやった研修視察は何だったのよと、全く無意味なものであれば全廃してもいいのだけれど、やはりそれなりに成果あったではないかと、せめて隔年でもいいから残そうというふうになって今のスタイルができたと思うのですよ。

以上でございます。

**○中島委員長** 今いろいろと述べていただきましたけれども、どういう資料が欲しいのですか。どの資料に載っているかわからなかったのだけれど、どういう資料が欲しいのですか。

**○畑中委員** どういう資料かというと、研修会については、よその議会でもどのような回数で、それから費用がどのくらいでやっているか、そういった資料が欲しいというのが私の意見。

**○中島委員長** わかりました。

ほかにありませんか。

澤出委員。

**○澤出委員** まだ出てなかったもので、定数とか報酬に関してのことなのですが、私も新人議員でよくわからない部分ありまして、求めたいのが今、七飯町2万8千人ぐらい人口いまして18名の定数ということになっていて、通常24とかという何かそんな話を聞いていたのですけれども。

他町村において、人口割りと議員の定数の問題、あるいは報酬それがどういう絡みになっているかというのが明確になるような資料があると一番助かるのかなという部分と、当然町の財政問題で夕張何かは議員の報酬分削られたりとかという事例も出てますから、具体的に財務状況との兼ね合いとかも比率で明確化すると大体どの辺が正当な報酬なのかというのも見えてくるかなと定数の問題も。

当然、定数減れば報酬も当然そういう形でスプレットする場合も出てきますし、そういう明確な何か数値の資料があれば助かるなと思っています。

**○中島委員長** ほかに。

中川委員。

**○中川委員** さっき私言ったのですけれども、ちょっと付け加えて先ず研修会に関してなのですが。先ほどいろいろ皆さんから出てたのですけれども各年で10万円とか15万とかというお話が出てたのですけれども昔の。今、10万とか15万とか予算付けてたと思うのですけれどもその研修費。それを付けた当時と今の一般的な旅費の金額というのですか、今、結構物価も上がっていますので、その辺もちょっと踏まえて協議していただいたほうがいいのかなと。

**○中島委員長** 予算も含めてね。

**○中川委員** 予算も含めて、要は昔は10万円



でやってたものが、では今はその同じ10万円で一般的な航空代から何からという宿泊代から同じものなのか。それとも消費税も上がってとかいろんな結構いろんなものが上がっている状況で適正なのかどうかというのも含めてちょっと入れていただきたいなというのと。

あと今、澤出議員さんのほうから議員定数と報酬に関してあったのですけれども、これについてはまず前回の議会活性化で議論した結果というのは出てますので、そちらを資料で1回出した方がいいのかな。

○中島委員長 前回の。

○中川委員 前回の。

○中島委員長 前回のまとめのやつ。

○中川委員 まとめやつ。

○中島委員長 配っていると思ったけど。

○中川委員 結局、我々の2期以上の方は、2万5千人を切らないと減らさないとかいろんな議論して結果出たというのがわかってるんですけど、やっぱり新人議員さんはそれがわかってないでいろんな資料、要は欲しいとか進めていきたいという気持ちになると思うので、それをわかる資料を1回出したほうがいいのかなど。

○中島委員長 前回の委員会の資料。

○中川委員 議員定数に関してかなり議論して結果出しましたよね。それを出してあげたほうがわかるのかなと思って。以上です。

○中島委員長 神崎委員。

○神崎委員 澤出委員の話してたのは7月の全道研修会で、全道の議員研修会のために冊子いただいているのに全て今のは全道の町村のは載っているのです。載ってます。全国は載ってないかな。全道は載ってますので、そのほかでもし足りない部分、載ってない部分。

以上です。

○中島委員長 ありがとうございます。

ほかに。

平松委員。

○平松委員 インターネットとその議会だよりの簡素化というのはセットでいくわけなので。今、うちの議会だよりの経費が幾らぐら

いになっているのかという数字が必要になるのです。

○中島委員長 議会だよりの……。

○平松委員 にかかっている経費ですね。

○中島委員長 経費ね。

○平松委員 例えば、函館市はインターネット始めて議会だよりのというのは、これ1枚です。A3、1枚です。ホームページを見てくださいと書いてある。

私のイメージは、やっぱりこういうふうにしてその議会だよりで浮いた分、例えば議員研修に回すとかね。そういうことになります。

インターネットの配信というのはYouTube使う限りは、これはただなのですけれど、YouTubeに載らせるまでにどういう編集するかというソフトウェアを購入するかしないかということで資料はあってもいいかなと。YouTubeに載せるためのソフトウェアの見積もりというのですか。何種類もありますからね。それと議会だよりが幾らぐらいかかって、函館市のようにもしやったらすれば幾らぐらい浮くのか、この数字をわかりたいと思います。

○中島委員長 わかりました。

いいですか、ほかに。

横田委員。

○横田委員 今の議員研修の件ですけれども、これってあくまでも常任委員会ごとでやるというのは基本とするのか。例えば、4回やるうちに1回ぐらいは例えばもっと違う会派ごとのやるとかというようなそういうことも考えているのかどうか。

それをやるかどうかというのは別にして、そういうのをほかの他町村でやっているところがあるのかどうかという、もしデータがもらえるのだったら貰ってほしい、お願いします。

○中島委員長 ほかにございませんか。

大分、出尽くしたようですが、大体、今まとめましたけれども。大体やはり研修会の件が非常に多かった。

まとめますと、川上委員のほうからは研修旅行が隔年になった理由と言いますか、その資料

が欲しいというのが1点と。

川村員のほうからは、正副議長については全道市町村のデータ、町村で2年ごとにやるところがあるのかないのか。そういうような資料もぜひ欲しいというのと。

それとあとインターネットの配信については費用についてどのくらいかかるのか、各自治体のケースがあれば各自治体の資料も欲しいというような話がありました。

中川委員のほうからは研修会について過去といますか、当時視察の内容といますか、予算も含めたそういうものもぜひほしいと。それと前回の委員会の資料これやはり新しい議員さんもいらっしゃるので、ぜひ提出してほしいというのと。

正副議長については川村委員とも同じような形なのですけれども全道全国の現状といますか。あと監査委員も含まれるのかどうか、含まれているときもあるのかどうなのか。そういうのもちょっと欲しいというようなことでした。

それから議会だよりについてはネット配信の関係ですけれども他の自治体では議会ですどのような形でやっているのか。そういう資料もぜひ欲しいというようなこととございました。

それと神崎委員のほうからは、議員研修会について全道の議会での実施状況、市町村ごとにやっているとあったらそういう資料が欲しいというのと。

あと横田委員のほうからも一人あたりの予算ですか、研修あたりの予算について。そしてまた会派または常任委員会でやってる市町村がどういう形でやっているのか。やっているとところがそういう会派でやっていると、また常任委員会でやってるようなそういう資料があったら各自で資料があったら、ぜひ提出してほしいというのが一つと。

それから畑中委員のほうでは先ほど川上委員からもありましたように、なぜ隔年になったかというような話もありましたし、財政状況のことでどういう事情だったかちょっとよく全くちょっと感じ取れなかったのですけれども、川上委員と同じような内容のものかなというよう

な感じを受けています。

それから澤出委員のほうからは議員定数と報酬について人口割り、または報酬の関わりといますか財政状況も含めたそういうものの資料があればというのと話がありましたけれども、この件については全道町村議長会で札幌でやっています、毎年やっています、資料には内容わかりやすく出ておりますので、それをぜひとも参考にさせていただければなと思うのですけれども。

澤出委員。

**○澤出委員** その資料自体は私も記憶してまして見て七飯町財務状況そんなに悪くないというように書いて合って、ただその基準というか何をもってそのわりを決めてるか具体的な各町村でも違うと思うので、一応その枠内であればいいのでしょうか。基準みたいなものももし何かで出てくるのであれば、そういう資料があればこうこうだからこの18名だよと。この19万何がしで、あなたが二十何万でそういうのがあれば助かるのですというのも、これ自体も資料的にはないでしょう。

各町村で個別決めているので別に具体的に基準というのはないのですか。枠が大枠が決まってて。いわばこういう場所で決めるということですね。うちに関しては。

では、了解しました。

**○中島委員長** ありがとうございます。

ほかにはないようですけど、事務局のほうとお聞きしたいのですけれども。今たくさん資料要求ありましたけども順次できるものできないもの、事務局のほうから。

暫時休憩します。

午前10時45分 休憩

午前11時00分 再開

**○中島委員長** 休憩前に引き続いて、会議を行います。

ただ今、皆様方からたくさん資料要求をいただきました。

今、お話ありましたようにできるだけ時間のかかるもの、かからないものたくさんあると思いますけれども、その辺は事務局のほうにぜひ

頑張ってください、皆さんの納得できるような資料をぜひ提出いただいて議論を進めていきたいなとそういうふうに思っておりますのでよろしくお願いをしたいと思います。

一応、きょうは資料要求これだけで結局この委員会を閉会したと思いますけれども御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○中島委員長 平松委員。

○平松委員 インターネットの配信にこだわっているわけなのですけれども、議場で2,000万かけて機材を直しているというこの理由はインターネット配信するためには、こういうマイクの壊れた状態ではできないとかという理由で今までの議会改革の中で話しているのかな。だから、それが整っているのですから、その辺のことは皆さんちゃんと自覚を持ってカメラもちゃんと自動で動くし、もう既に録画はできてるわけですよ。あと配信するだけの話なのですからね。そこら辺のことは、しっかり2,000万かけたということを忘れないでいただきたいなと思います。

○中島委員長 はい。

○稲垣委員 さっきも言ったのですけれども、この中で議論するための資料要求ではないかなと私は思うので。それを皆さん当然わかっていることだと私は思っています。

○中島委員長 ありがとうございます。

確かにそれは議論が入ってから再度また平松委員からそういう意見も言っていただければと思いますから、ぜひ議論に入った時点でぜひまた発言していただきたいと思っておりますけれども。

川上委員。

○川上委員 ちょっとあの話先に戻るのですけどね。これ今、資料要求、全部一遍に五つもらいますよね、やりますよね、出してもらいますよね。次回の委員会のときには、五つ全部やる一遍にやるというか。優先順位みたいなのはきょう決めないのですかね。

○中島委員長 さっき話した。決まったと思うのですけれども。さっきそれ話しましたけれども。

先にやはり1回、研修会の検討、2年制の問題等これを優先的にやっていくと。最初にやっていくということでございます。

まずはこの資料についてできるだけ早く出してもらって、次回までに出してもらって、二つを優先的にやっていくという形で進めたいと思いますので。

○川上委員 わかりました。

○中島委員長 御理解いただきたいと思えます。お願いいたします。

次回の委員会なのですけれども、二十日の週です。来週二十日の週、民文とそれから広域下水道の研修会があるのですよ。それでまず無理。それで27日の週なのですけれども、大学の広域連合の視察が入ってまして、今月はちょっと時間的に無理かなど。できないです。

だからできませんので、2月に入ってから決めようと思いますので委員長と副委員長まず事務局に日程についてはお任せいただいて、できるだけ皆に早くお知らせをしたいと思っておりますので御理解をいただければと思いますけれども。

それでよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○中島委員長 それではきょうの第4回の委員会はこれで……。

中川委員。

○中川委員 すみません、最後にその他みたいなものなのですけれども、先ほど平松委員さんからまるでこの委員さん全員自覚がないみたいなこと言われたので、そういうことはないのか皆さん予算も通して議場の整備もしていると皆自覚を持ってやっていますので、だからこそ稲垣委員さんが言ったように恥ずかしい議会を全世界に出さないようにしっかりこの委員会で議論してやっているとしますので、平松委員さんにもそれを理解していただきたいと思えます。皆さんが自覚ないと言われたので、まずは委員長からも自覚はありますということをお願いしたいなと。

○中島委員長 そのとおりでございます。代表していただきまして、ありがとうございます。

以上できょうの会議終わります。

午前11時05分 閉会

